

10月 主題 「きもちがいい」

「しかし、わたしは主によって喜び わが救いの神のゆえに踊る」(10月中心聖句)

旧約聖書 ハバクク書 3章18節

「Do it anyway (それでも)！」

実り豊かな秋の季節を迎えました。寒暖の差が激しく、子どもたちの体調に気を使う季節でもあります。その一方で、食べることや体を動かすことが気持ちのいい季節です。思い切って色々なことに取り組むことを通して、季節の恵みを十分に味わうことができると願っています。

今年も、皆様方のお支えによって無事に運動会を終えることができ、心から感謝いたします。保護者の方々、特に役員の方々には、献身的なご協力をいただき有難うございました。しかし、子どもたちのことを一番に褒めてあげたい思いがいたします。わたくしは、練習の段階から子どもたちの動きを見させていただきましたが、運動会が近づくとつれ、日に日に、動きが良くなっていき、頼もしくなっていく子どもたちの姿に、胸を踊らせていました。飛び箱が飛べなかった子どもが飛べるようになり、また、飛べなくてもあきらめずに何度もトライする姿を見せてくれました。かけっこでも、ダンスでも、粘り強く練習に耐えて、体を動かすことの喜びを表現してくれました。たとえ、こけたり、失敗してしまっても、最後まで諦めずに頑張り通す力強さを見せてくれました。

そのような子どもたちの姿を見て、ふと思い出すことがあります。それは、今年の5月に、聖路加国際病院の山内英子先生を迎えて行われた、子育て講演会のことです。山内先生は、自身の子育て体験を通して、貴重なお話をしてくださいました。講演の終わりには、賞品をかけたじゃんけんゲームで場の空気を盛り上げてくださいました。山内先生のお働きによって、実り豊かな一日となりましたが、実は、山内先生には、その午前の講演の後、午後にも職員向けの研修をお願いしておりました。その内容も、午前の講演に劣らず興味を覚えるものでありましたが、特に心に残ったのは、マザーテレサが語ったという『Do it anyway』という詩でした。

「人は不合理で、わからず屋で、自己中心的です。それでも、人を許しなさい。」

この詩はこんなフレーズで始まります。全てをここに記すことはできませんが、『それでも(anyway)』という言葉が八回繰り返されます。良いことをしても報われないばかりか、自分にとって辛く悲しい事態を招くかもしれない、『それでも良いことをしなさい(Do it anyway)』。そのような励ましの言葉が繰り返される詩です。マザーテレサは偉大な働きをした人物として記憶されていますが、その背景に不屈の精神があったことは言うまでもありません。彼女にも、わたしたちと同様かそれ以上に、泣き言を言いたくなったり、挫けそうになることがあったに違いないのです。心が湿って、しわくちゃになって、何もかも投げ出したくなる時に、「それでも (anyway)！」とあって自分の心を励まし、より一層の愛の行為に励んだのでした。今回の運動会における子どもたちの頑張りや、マザーテレサの語った『それでも(anyway)』に通じるものがあつたように思います。もちろん、子どもたち一人ひとりをマザーテレサのような偉人と比べるのは大げさなことかもしれませんが、しかし、わたしたちは、今回の運動会を頑張り通した子どもたちが、これから先の人生においても、苦しい時、辛い時、立ち上がれそうにないように見

えるときにも、「それでも(anyway)！」と心を奮い立たせて前に進んでいく人になってほしいと心から願っています。

ところで、今月の主題聖句は「わたしは主によって喜び わが救いの神のゆえに踊る」となっています。ところが、実際に聖書の該当箇所を開いてみると、その前に「しかし」と前置きされています。聖書では、この「しかし」が大切となります。預言者ハバククの目には、外国の強大な勢力に脅かされ、国の産業も衰え、人々の心も消沈し、正しさが失われるような、風前の灯のようになった祖国の姿が映し出されていました。実際、預言者ハバククの時代からそれほど間もない頃に、イスラエルは滅ぼされてしまうのでした。預言者ハバククは、その悲しみを切々と語ります。ところがその後すぐに、「しかし」と語るのです。神様と共にあることを喜び、神様の救いを確信して喜び踊るのでした。それは、やせ我慢や強がりではありません。そこには、神様への力強い信頼があります。目に見える惨めさ以上に、目に見えない恵みの豊かさに生きる信仰者の姿が現れています。そのようにして、神様に信頼する人は、何度でも立ち上がります。預言者ハバククだけではありません。マザーテレサもまた、神様への信頼に生きた人でありました。聖愛保育園の子どもたちもまた、園での生活を通して、神様への信頼に生き、転んでも失敗しても、何度でも立ち上がる人になることがわたしたちの願いです。

(執筆者：副園長 黒田 恭介)

行事予定 ㊦

◎ 10月26日(月) 幼保交流会(於すみれ保育園)

◎ 10月30日(金) 芋掘り(すずらん組、ゆり組)

◎ 11月 4日(水) 合同礼拝(以上児クラス)

◎ 11月 5日(木) 秋のふれ合いバス遠足

◎ 11月 8日(日) 児童祝福式礼拝 10時15分～ 於：由布院教会

※ 由布院教会の日曜礼拝には、どなたでも参加できます。関心のある方は、各クラス担任までご相談下さい。

◎ 11月 9日(月) 防火パレード

◎ 11月11日(水) 英会話(すずらん組、ゆり組)

◎ 11月17日(水) 幼保交流会(於：由布院幼稚園)

◎ 11月18日(水) 避難訓練

◎ 11月18日(水) 第三回保護者役員会

◎ 11月25日(水) 英会話(すずらん組)

◎ 11月26日(木) 収穫感謝合同礼拝・誕生日会

◎ 11月26日(木) 園児健康診断(岩男病院)午後

◎ 11月27日(金) 園児歯科検診(田代歯科)午前

● 12月19日(土) 保育園クリスマス祝会

※ 保育園行事に参加される保護者の皆さまは、早めに予定を入れて下さいますよう、よろしくお願いいたします。



お知らせ

☆ 10月30日(金)、ゆり組とすずらん組は芋掘りを行います。今回収穫するお芋は、子どもたちが6月に植えた芋なえが成長したものです。この体験を通して、子どもたちの瞳が神様の恵みの方へと向けられることを願っています。また、今回の芋掘りのために、畑を使わせて下さった佐藤修治様のご協力に感謝いたします。

☆ 毎週日曜日、午前9時から9時30分まで子ども達の教会学校を行っています。8月中はお休みしていましたが、9月6日から再開します。静かな朝、神さまを礼拝し、神さまの愛と祝福を味わうひと時をご一緒に過ごしていませんか。関心のある方は、小森 牧師、黒田副園長、利光 先生までご連絡下さい。